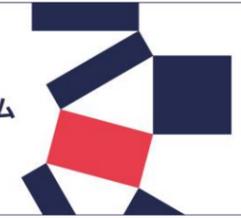


公認プログラム



# 東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える 中央区のおもてなし

## 折り鶴ウェーブ

ORIZURU WAVE

-中央区おもてなしプロジェクト-  
-Chuo City OMOTENASHI Project-



折り鶴を通じて世界の人々とつながる 平和と文化のおもてなし  
Openness and Globalism Peaceful and Cultural OMOTENASHI



刊行物登録番号  
30-108

東京2020オリンピック・パラリンピックを迎える中央区のおもてなし  
平成31(2019)年 3月

編集・発行 中央区企画部オリンピック・パラリンピック調整担当課  
東京都中央区築地一丁目1番1号 電話：03(3546)5226

写真協力 一般社団法人中央区観光協会、中央区企画部広報課



# 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 開催概要



## 東京2020オリンピック競技大会

開催期間 2020年7月24日（金）～8月 9日（日）  
競技数 33競技

## 東京2020パラリンピック競技大会

開催期間 2020年8月25日（火）～9月 6日（日）  
競技数 22競技

## 選手村

所在地 中央区晴海四丁目・五丁目の約44ヘクタールの敷地に整備  
施設 宿泊棟（オリンピック時 18,000人収容／パラリンピック時 8,000人収容）  
ダイニング、総合診療所、スポーツジム、ビレッジプラザ、運営施設など

## <参考>

訪日外国人旅行者数（2020年政府目標） 4,000万人（2015年の約2倍）  
訪都外国人旅行者数（2020年東京都目標） 2,500万人（2015年の約2倍）

# 2020年に向けた 中央区の「おもてなし」の方向性

**東**京1964大会から半世紀を経て、東京で再び世界最大のスポーツと文化の祭典、オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

選手村を擁する中央区では、東京2020大会の開催を全力で支援するとともに、区内全体の良好なまちづくりを進めるため、「2020年に向けた中央区の取組（平成27年3月）」を定め、「スポーツ」「国際教育・交流」「観光・文化」「防犯・防災」「まちづくり」の5分野を総合的に推進し、「国内外から多くの人々が集い、誰もがあこがれるまち」を目指して取り組んでいます。間近に迫った大会開催に向けて、皆さまとともに中央区一丸となって世界中から訪れる多くの人々をおもてなしの心でお迎えし、江戸以来の伝統と最先端が調和した中央区の魅力を世界に発信していくことで、未来の中央区のにぎわいとさらなる発展につなげていきます。

**今**後のおもてなしの展開に当たっては、「2020年に向けた中央区の取組」の目指す方向性を踏まえ、次の5つの視点を持って、地域一体となったおもてなしに取り組んでいきます。

## 2020年に向けたおもてなしの視点

～多様な主体が参加するオール中央区でのおもてなしの推進～

<p><b>地域資源を活用した にぎわいの創出</b></p> <p>日本の文化・商業・情報の中心として発展してきた本区の多彩な地域資源を活かしてにぎわいを創出し、国内外に中央区の魅力を発信していきます</p>	<p><b>来街者の快適な 受入環境の整備</b></p> <p>来街者が安心・快適に観光を楽しむ、観光案内機能の充実や地域のホスピタリティの向上、バリアフリー化等に取り組んでいます</p>	<p><b>大会気運と 祝祭感の高揚</b></p> <p>東京2020組織委員会、東京都等と連携し、大会気運と祝祭感を高揚させるまちの装飾、イベントの実施、大会グッズの活用等に取り組んでいます</p>
---	---	---

<p><b>区民と選手等との 交流機会の創出</b></p> <p>区民がさまざまな形で大会に参加し、世界中から訪れる選手・大会関係者や旅行者等と交流するなど、区民の一生の思い出となる貴重な体験の場を提供していきます</p>	<p><b>大会の機会を捉えた 平和メッセージの発信</b></p> <p>世界の注目を集める大会開催の機会を捉え、中央区から世界へ恒久平和のメッセージを発信していきます</p>
--	---

~2018  
(~平成30年)

# 2020年に向けた おもてなしロードマップ<sup>①</sup>

2013.9.7  
東京2020大会  
開催決定

2016.4.25  
大会エンブレム  
決定

2016.8~9  
リオ2016大会  
開催

2018.7.22  
大会マスコット  
デビュー

2018.9~12  
大会ボランティア  
都市ボランティア  
募集

大会の開催決定後、本区は、オリンピック・パラリンピック区民協議会を立ち上げ、オール中央区で取り組む体制を整備しました。大会に向けて気運を盛り上げるとともに、本区の魅力を発信し、世界中から訪れる人々を受け入れる環境整備を進めてきました。

## 地域連携体制の構築

- 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立 (2015.12)
- 観光・文化検討部会の設置 (2016.3)
- ボランティア検討部会の設置 (2017.1)

## 地域資源の活用

- 銀座～豊洲又はお台場を巡る水陸両用バスツアー社会実験の開始
- まちかど展示館の新規認定再開
- 舟運観光の活性化



▲新たな都市観光ツールとなる水陸両用バス



▲地域の歴史と誇りを収蔵するまちかど展示館 (佃)



▲日本橋川を巡る舟運を活用した観光

## 観光案内サービスの強化

- 観光情報センターを中心とする区内観光案内所の連携
- 多言語表記の案内サインの整備



▲観光情報センター (京橋二丁目 2016.11開設)



▲G Info  
▲ (銀座五丁目 2016.3開設)



▲ぶらっと築地 (築地四丁目 2012.7開設)



▲日本橋観光案内所 (日本橋一丁目 2017.7開設)



▲観光案内板 (日・英表記・フリーWi-Fiサービス提供)

## 旅行者の誘致につなげる本区の魅力発信

- 4言語 (日・英・韓・中) に対応した中央区観光プロモーション映像の製作、HP等での公開

## ボランティア活動の活性化

- 中央区観光協会の観光ボランティアの募集開始 (2018.3)
- 東京都と連携した中央区文化・国際交流振興協会の外国人おもてなし語学ボランティア育成講座の開催

## 真夏の暑さ対策

- 来街者が集まる場所におけるミストや日よけ設備の設置



▲日よけ設備の設置 (京橋エドグラン)

## バリアフリーの推進

- 人にやさしい歩行環境の整備
- 公衆便所の洋式化・だれでもトイレの整備など



▲歩道の拡幅・平坦化

## 快適な移動手段の提供

- コミュニティサイクルの広域相互利用 (2019.3現在 9区)

## 持続可能な社会への取組

- 東京2020組織委員会「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」への協力 (2017.4.22~2019.3.31)

## 大会に向けた気運醸成

- オリンピック・パラリンピックに関する講演会の開催
- 東京2020参画プログラムの活用
- 大江戸まつり盆おどり大会における東京五輪音頭-2020-の披露
- 東京2020組織委員会、東京都などと連携した気運醸成イベントの開催



▲東京2020組織委員会と連携したオリンピック1000日前イベント (日本橋)

## オリンピック・パラリンピック教育の推進

- 全小・中学校・幼稚園における中央区版「一校一国運動」の実施



▲月島第二小学校児童とカンボジア留学生との交流

## 大会参加国との交流提携

- 豊海小学校における大会時のブラジルオリンピック委員会拠点設置 (ファミリー アンド フレンズ ラウンジなど) に関する提携 (2017.6)

2019  
(平成31年)

# 2020年に向けた おもてなしロードマップ②

2019春  
公式チケット  
申込開始

大会1年前となり、本番を想定した各種競技のテストイベントが行われます。本区では、9月15日にマラソングランドチャンピオンシップが開催されます。選手村は、2019年12月に宿泊棟が完成し、その後、内装工事が行われます。選手用のダイニングやビレッジプラザの建築も始まり、大会の開催が形になってきます。

2019.7～2020.5  
テストイベント

7.24  
オリンピック  
1年前

8.25  
パラリンピック  
1年前

9.15  
マラソングランド  
チャンピオンシップ

9.20～11.2  
ラグビーワールド  
カップ2019

## 平和と文化のおもてなし 折り鶴ウェーブの開始

- 区民が平和への願いとおもてなしの心を込めて作成した折り鶴を、大会時に区内全域で来街者にプレゼントする「折り鶴ウェーブー中央区おもてなしプロジェクト」を開始します。
- 子どもから高齢者まで、誰もが気軽に参加できます。

2019.7～ キックオフイベント  
折り鶴袋詰めボランティア  
2020.7～ 区内観光案内所等で折り鶴の配布



## 区内回遊における快適な歩行環境の提供

- 「フリーWi-Fiアクセスポイント」「暑さ対策」「花の装飾」によるおもてなしの取組が進む中央通りとあわせ、選手村から銀座までをつなぐ晴海通りを区内回遊のメインストリートとして、選手・大会関係者、来街者等に快適な歩行環境を提供していきます。



▲ Chuo City FREE Wi-Fi エリアサイン



▲ 数寄屋橋公園のミスト付きパラソル

## ブラジルユーススクールゲームズへの中学生の派遣

- ブラジルオリンピック委員会との交流事業の一環として、ブラジル国内の学校に通う12歳から17歳までの子どもたちの相互交流やアスリート輩出を目的としたブラジル全国レベルのスポーツ大会（ユーススクールゲームズ）に、区立中学生を派遣します。

## 築地デポ（車両基地）の整備

- 大会開催時に選手・大会関係者を輸送するバス・乗用車の管理運営を行う車両基地が、築地市場跡地に整備されます。（東京都・東京2020組織委員会事業）

車両収容台数 バス約850台 乗用車約1,850台

## 東京2020マスコットの活用

- 小学生の投票で選ばれた東京2020マスコットの「ミライトワ」と「ソメイティ」を区のイベント、広報媒体等で活用し、大会気運を盛り上げていきます。



ミライトワ  
MIRAITOWA



ソメイティ  
SOMEITY

## 東京2020テストイベントの開催

- 東京2020オリンピック代表選考レースとなるマラソングランドチャンピオンシップ（東京2020テストイベント）が、9月15日（日）に中央通りなどで開催されます。

## ラグビーワールドカップ2019の開催

- 9月20日（金）から11月2日（土）まで、全国12会場でラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されます。区内でも、商店街が気運醸成に協力し、街路灯フラッグが掲揚されます。

## 江戸バスへのフリーWi-Fiの設置

- 来街者の受入環境充実のため、江戸バスにフリーWi-Fiを設置します。



▲ 区内の名所巡りにも便利な江戸バス

## 地域主体の“おもてなし”の紹介

### 全銀座会 G2020「ユニバーサルマナーの普及」

銀座を訪れる高齢者や障害のある方などに適切なサポートを実践するため、銀座で働く人々にユニバーサルマナー検定の受講を推進しています。

### 日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会「日本橋アンバサダー育成プロジェクト」

日本橋文化の魅力を発信し、外国人などのコミュニケーションをサポートするボランティア「日本橋アンバサダー」を育成しています。

### 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島「選手村予定地おもてなし清掃」

中央区に選手村が決定した当初より、選手を歓迎する「おもてなしの心」で選手村予定地周辺を月1回清掃しています。



▲ ユニバーサルマナー検定受講風景（全銀座会G2020提供）



▲ 日本橋アンバサダー活動風景（日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会提供）



▲ おもてなし清掃のボランティア（中央区地域スポーツクラブ大江戸月島提供）

2020

# 2020年に向けた おもてなしロードマップ<sup>③</sup>

4～9  
東京Nippon  
フェスティバル  
Tokyo Tokyo  
FESTIVAL

7.10～24  
オリンピック  
聖火リレー  
(都内)

7.14～8.12  
オリンピック  
選手村開村

7.24～8.9  
オリンピック開催

パラリンピック  
聖火リレー

8.18～9.9  
パラリンピック  
選手村開村

8.25～9.6  
パラリンピック開催

いよいよ、大会の開催です。まちはフラッグで彩られ、聖火が区内を巡ります。選手村にアスリートが集まり、世界中から多くの人々が訪れることから、区民の皆さんが大会に参加できるさまざまな機会を創出していきます。

## BRTプレ運行の開始

- 次世代都市交通システム「東京BRT」の一部区間運行(虎ノ門～晴海二丁目)が始まります。(東京都事業)



▲BRT車両イメージ(東京都都市整備局提供)

## 各種ボランティアの活躍

- 大会ボランティア、都市ボランティアをはじめ、本区の魅力を紹介する「中央区観光ボランティア」、外国人への声かけをする「外国人おもてなし語学ボランティア」などが、街中で活躍します。



▲外国人旅行者に中央区の魅力を紹介する観光ボランティア

## まちを彩るシティドレッシングおよびライトアップ

- 大会の祝祭感を盛り上げ、東京の魅力を世界に発信するため、幹線道路をフラッグやバナーで装飾するとともに、橋梁などのライトアップが実施されます。(東京都主催)



▲日本橋シティドレッシングの装飾

## 聖火リレー

- 平和と希望のシンボル、オリンピック聖火が都内全区市町村を巡ります(7月10日(金)～24日(金)。東京2020組織委員会主催)。オリンピック閉幕後、パラリンピック聖火リレーも実施されます。

## 選手村の開村

- オリンピック選手村 7月14日(火)～8月12日(水) 予定
- パラリンピック選手村 8月18日(火)～9月9日(水) 予定



▲2020年の晴海五丁目地区(選手村周辺のイメージ)(恒久施設のみ描画。東京都オリンピック・パラリンピック準備局提供)

## 晴海おもてなし拠点(仮称)の設置

- 選手・大会関係者の区内回遊促進と区民との交流創出を目的として、観光案内機能や日本文化を紹介するステージを備えたおもてなし拠点を大会時に設けます。(7月上旬～9月上旬設置予定)



▲晴海おもてなし拠点(仮称)観光案内のイメージ



▲晴海おもてなし拠点(仮称)ステージのイメージ

## 選手・大会関係者に向けた情報発信

- 選手・大会関係者向けに、所要時間別・テーマ別の区内回遊ツアー情報等の提供を検討します。

## ブラジルおもてなしルーム(仮称)の設置

- 豊海小学校のブラジルオリンピック委員会拠点において、区民が選手やその家族に日本の文化や遊び等を紹介する交流の場を設置します。(7月中旬～8月中旬)



▲豊海小学校児童とブラジルハンドボールチームの交流

## マラソン競技の沿道応援

- オリンピックマラソン(女子8月2日(日)、男子8月9日(日))およびパラリンピックマラソン(9月6日(日))開催時に、中央通りなどにおける沿道応援の検討を進めます。



▲東京マラソン

## 子どもたちのオリンピック・パラリンピック競技観戦

- 都内の公立・私立学校を対象に競技観戦を実施します。(東京都事業)

## 文化・芸術・スポーツ・祭り等のイベント開催

- 区内地域団体、企業等による文化、芸術、スポーツ、祭りなどのイベントが開催されます。

2021～

選手村のある区として、大会に向けて地域一体となった取組を新たな価値の創造につなげ、レガシーとして引き継いでいきます。

## ソフト・ハードのレガシー

魅力ある都市観光の推進、ボランティアマインドの醸成、バリアフリーのまちづくりなど、地域一体となって進めたソフト・ハード両面の取組を、レガシーとして中央区の将来の発展につなげていきます。

## 心のレガシー

区民の誰もが大会を身近に感じ、大会に参加し、世界中の人々と交流できるなど、さまざまな機会を創出することにより、大会の感動と記憶を残していきます。

# 大会時の中央区のおもてなしの姿

区民、区内関係団体、関係機関および区が一体となり、世界中から中央区を訪れる人々を「おもてなしの心」で迎え、中央区の魅力を発信していきます。



## 快適な歩行環境を提供する おもてなしのメインストリート (中央通り・晴海通り)

- 観光案内サイン
- フリーWi-Fi  
アクセスポイント
- 暑さ対策 (ミスト、  
日よけなどの設置)
- 花の装飾



▲花の装飾



▲中央通り (ゆかたで銀ぶらの風景)

## 各観光案内所の連携による情報発信

- 観光情報センター、GInfo、日本橋観光案内所、ぷらっと築地、晴海おもてなし拠点 (仮称)

## 魅力ある地域資源の活用

- 銀座、浜離宮恩賜庭園、築地場外市場、築地本願寺、水天宫、もんじゃストリート
- 日本橋、勝鬃橋
- 歌舞伎座、新橋演舞場、明治座
- まちかど展示館
- 水陸両用バスなど



▲歌舞伎座

## 舟運の活用

- 浜町防災船着場、日本橋船着場、明石町防災船着場、朝潮運河船着場、浜離宮水上バス乗り場など



▲舟運の観光活用

## 日本各地の魅力発信

- アンテナショップを活用した日本各地の魅力発信

## 大会気運と祝祭感の盛り上げ

- フラッグ等によるシティドレッシング (中央通り、晴海通りなど)
- 橋梁等のライトアップ (勝鬃橋など)
- 聖火リレー
- マラソンの沿道応援 (中央通りなど)



▲ライトアップされた勝鬃橋



▲日本橋シティドレッシング

## 選手・大会関係者へのおもてなし

- 晴海おもてなし拠点 (仮称)
- ブラジルおもてなしルーム (仮称) (豊海小学校)
- 中央区版「一校一国運動」



▲豊海小学校児童とブラジル選手との交流

## ボランティアの活躍

- 都市ボランティア (シティキャスト)
- 観光ボランティア
- 外国人おもてなし語学ボランティア
- 日本橋アンバサダー (日本橋地域ルネサンス100年計画委員会)
- 選手村予定地おもてなし清掃 (中央区地域スポーツクラブ大江戸月島)



▲観光ボランティア

## バリアフリーの推進

- 歩行環境の改善、公衆便所の整備 (洋式化・だれでもトイレ)
- ユニバーサルマナーの実践 (全銀座会)

## 平和とおもてなしメッセージの発信

- 区内全域で折り鶴の配布 (折り鶴ウェブ)

